

経営発達支援計画【令和5年度実績の概要】

■自己評価 A:大変効果があった B:まあまあ効果があった C:あまり効果がなかった D:まったく効果がなかった

経営発達支援事業

1. 地域の経済動向調査

総合評価：B

地域景気動向分析【中小企業景況調査:15社（目標15社）/出雲市中小企業景況調査:30社（目標30社）】

⇒市内商工団体等との連携により、管内事業者計45社に対して年4回（四半期毎）調査を実施し、地域の経済動向や業種ごとの景況等を把握。外部環境の変化を捉えるための情報収集や分析、経営支援における基礎資料として活用した。なお、調査結果はHPで都度公開し、事業者向けに情報提供を行った。

2. 需要動向調査

総合評価：B

業界毎需要動向の把握と個社支援への活用【調査結果情報提供個社支援実施件数：16社（目標12社）】

⇒JRS-INDEXや業種別審査事典等を活用して業界別の需要動向の把握を行った。各種ツールやチャネルにより入手した需要動向等に関する情報は、ターゲットの絞り込みや事業計画の見直しのきっかけとするなど、事業計画の策定支援（16者）に活用した。

なお、支援企業の業種は右記のとおり。【製造業3社・建設業1社・サービス業6社・卸小売業6社】

3. 経営状況の分析

総合評価：B

経営分析の実施【実績件数：16社（目標30社）】

⇒巡回等を契機に掘り起こしを行った経営分析及び事業計画の策定に意欲的な事業者に対し、財務・非財務による経営分析を実施。経営課題の明確化等により、現状認識の深化と経営の見える化を図り、分析結果を事業計画策定の基礎資料として活用した。

4. 事業計画策定支援

総合評価：B

事業計画の策定支援【実績件数：16社（目標30社）】

⇒経営分析実施事業者に対し、事業計画の策定を支援した。専門的分野については専門家派遣を活用し、具体的かつ実効性の高い事業計画の策定を支援した。

策定した計画の内訳は右記のとおり【事業計画12社、創業計画1社、事業承継計画3社】

DXセミナーの開催【実績：1回（目標1回）】

⇒小規模事業者向けにDX推進セミナーを開催した。セミナーを通じてDXの意義や必要性の認識向上やITリテラシーの向上等を図った。参加者数は34名。

5. 事業計画策定後の実施支援

総合評価：B

事業計画策定支援企業に対するフォローアップの実施【フォローアップ実績：90件（目標120件）、うち売上増加企業数8社（目標3社）、利益率1%以上の改善企業数7社（目標3社）】

⇒事業計画策定支援を行った事業者に対して、四半期に1回を目標とした事業計画策定後のフォローアップを実施した。事業者の取り組みを伴走支援するとともに、新たに発生した経営課題への対応や事業着手後の効果検証等を行った。なお、フォローアップ支援の総回数は目標未達となったが、16社に対して平均5.6回と1社あたり4回の目標値を上回るフォローアップを実施した。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

総合評価：B

「中海・宍道湖・大山圏域ビジネスマッチング事業」出展による販路開拓支援【出展実績：4社（目標10社）】

⇒米子市で開催された中海・宍道湖・大山圏域ビジネスマッチング商談会に4社がエントリーし、うち1社が成約に至った。参加企業に対しては出展支援を行った。次年度は、一層強力に参加勧奨するとともに、更なる商談対策を実施するなどして販路開拓（成約件数の増）に繋げていく。

SNS等のDX活用の推進【実績：10社（目標：10社）】

⇒デジタル化支援が必要と判断される事業者（10者）を選定し、SNS等による情報発信や業務のデジタル化に関する支援を行った。支援の結果、6社より新規顧客獲得効果ありとの報告があったが、小売業やサービス業においては、事業上、新規顧客が皆無ということは稀有であるため、次年度は成果目標の見直しが必要。